



# JEG ニュースレター 160号

www.jegschweiz.com

2017年4月7日発行

## 小さな証

1歳から64歳までが参加するYWAMに飛び込んだトムセン・ヨハナ姉が、学校で宣教地で学んだものとは。 P2



## 帰国者リトリート

海外で信仰を得た邦人キリスト者のために滋賀県の陶芸の里・信楽で帰国者リトリートが開催されました P4



## 新案内パンフレット

一人でも多くの人に届くようにとの願いを込めスイスJEG案内パンフレットが6年ぶりに制作されました。P3



## 第2回イスラエル旅行

聖書をより立体的、カラフルに、。第2回スイスJEG企画イスラエル旅行記を添付いたしました。



## 小さな祈り

神よ。私にきよい心を造り、  
ゆるがない霊を  
私のうちに新しくしてください。

ガリラヤ湖の日没

天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に撒くと、どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。

マタイ 13:31

からし種は、イスラエルの格言的なことばで、もっとも小さいもの、イエスは、奥義としての天の御国の始まりは、取るに足りぬ者（イエスの弟子から私たちまで）から始まることを、たとえて説かれた。

カペナウムに咲くからしの花

## ちいさな証

## Serving God and people

Johanna Thomsen

JAPANISCHE EVANGELISCHE GEMEINDE SCHWEIZ



The last 6 months has been a life changing phase in my life including a learning, healing, receiving, challenging and trusting time. I am grateful to God that I was able to take a pause after high school and dig deeper in my faith and to get to know more about Him.

DTS stands for Discipleship training school and is a 6 months program from Youth with a mission, in short YWAM, which you can find worldwide. The motto of this program is "To know God and make Him known". My school in Germany was a very nice and small class which consisted 9 students from ages 1 to 64. The first 3 months of the program is the lecture phase where you get taught different topics every week such as Father heart of God, Identity or Mission from international guest speakers. During this first half of the school, there was also a special ministry week included.

In the city I was staying in, there was a reformation week, where we were able to help out the churches in the city by mainly doing Martin Luther tours for elementary and junior high students.

The other half of the school is for the outreach phase, where our heart is to serve God and the people in the country. We had 3 outreach teams in our school, one stayed in Germany to serve in schools, another went to Uganda for Kids ministry and farming and the team I was in went to Jordan to mainly work with Syrian refugees.

In the last 3 weeks of the school we will go around to churches and schools to share how God has worked through us. Again, I am grateful to God, family, friends and churches who made this possible.

ユース・ウィズ・ア・ミッションは、国際的なキリスト教徒の宣教団体。略称はYWAM（ワイワム）。1960年にローレン・カニンガムにより開設された。現在150以上の国で活動しており、20000人のスタッフが存在する。



Youth With A Mission is an evangelical inter-denominational, missionary organization. Founded by Loren Cunningham in 1960, YWAM's stated purpose is to "know God and to make Him known".

## 神と人に仕える

トムセン・ヨナハ

スイス日本語福音キリスト教会会員

この6ヶ月間と言うものは、神様からの学び、癒し、受け取った事、チャレンジを与えられた事、神を信頼する事を通して、わたしの人生を変えるものでした。高校を卒業後、主との深い交わりを持ち、主を良く知り、信仰を深めるという機会を与えられた事に篤く感謝しています。

DTSは弟子訓練学校です。6ヶ月間のユースミッションプログラムで、略してYWAMとよばれ世界中に点在しています。この学校のモットーは「神を知り、神を知らせる」です。私が参加したドイツの学校は、とてもこじんまりしていて、すてきなところです。生徒は9人、年齢は1歳から64歳の人々が参加していました。最初の3ヶ月は外国からのゲストスピーカーを迎えてレクチャーを聞いたり、神の御心、ご性質、宣教活動等々様々なテーマで学び話し合いました。



また時には、特別なミニストリーツアーをもちました。私のいた町では宗教改革週間があり、マルチンルターをテーマに小学生や中学生に町の中のツアーガイドをする事で町の教会を手伝いました。その3ヶ月の学びの後はアウトリーチの期間でした。それは神と人に仕えると言う事を心に持って行きます。私たちは

3つのグループに分かれました。一つのグループはドイツに残り地域の学校で奉仕しました。

二つ目はウガンダへ送られました。そこでは子供達に伝導をして農業にも携わりました。そして私が参加した最後のグループは、ヨルダンへ送られました。そこでは、シリアからの難民に対して働きを行いました。アウトリーチを終えてドイツに戻り、最後の3週間は教会や学校を訪ねて、私たちを通して神がなされた御業を証しています。

最後にもう一度、このプログラムへの参加を可能にしてくれた神様、そして家族や教会の兄弟姉妹方達に心から感謝いたします。



**1、主の手紙シリーズが終了** マイヤー牧師の黙示録から”7つの教会に宛てた主の手紙シリーズ”は、3月26日の日曜礼拝における”ラオデキア教会宛ての手紙：生ぬるい状態を悔い改めなさい”をもって終了いたしました。主イエスがアジア（今のトルコ）に宛てた7通の手紙は、2千年に渡る教会史を辿ると同時に、終末に生きる今日の教会に宛てた的確で鋭いメッセージです。

大変重要でありながら教会で語られることの少ない黙示録を、深く掘り下げたメッセージは好評で、Youtubeにアップロードされた録画に、3月末までのアクセス数は1050を超えました。

チャートやパワーポイントが入ったメッセージビデオはスイスJEG-HPの説教サイトをご覧ください。（一般公開）[礼拝メッセージ \(Audio/Video\) - スイス日本語福音キリスト教会のホームページ](#)によろしく！



**2、第2回 イスラエル旅行** スイスJEG企画の第2回イスラエル旅行が、スイスJEG以外から10名を加え総勢27名で、2月17日から24日まで催行されました。4000年に渡って書かれた旧新約聖書由来の約束の地、イエス様の歩まれた足跡を

辿りながら旅は、参加者全員に深い印象と感動を刻みました。その旅行記をこのニュースレターに添付しましたのでお読みください。なお、今回の聖地旅行記録ビデオもご覧いただけます。

**3、礼拝における証と特別賛美** 2017年度より、礼拝を活性化するため、礼拝のなかに信徒の証や特別賛美を組む込むことになりました。2月12日には、昨年末、チューリッヒで開催された欧州の若者のためのリトリートFATにリーダーとして企画参加したトムセン・チャーリー兄が証をされました。



YWAMの仲間たちと

また、3月12日には、現在、南独のYWAMで弟子訓練を受けているトムセン・ヨハナ姉（小さな証）ならびにヨルダンで共に短期宣教に従事した仲間の証があり、主の道具としての若者たちの信仰に裏打ちされた行動に感銘をうけました。



ケビン君日本へ、そして、愛餐会に交わり

**4、特別賛美と証** 3月26日には、第2回イスラエル旅行では最年少の参加者であったバーゼル家庭集會に集う佐藤裕希姉の証と特別賛美がありました。この証と特別賛美は、録画にてご覧いただけます。[https://www.youtube.com/edit?o=U&video\\_id=5Uix5eBLORU](https://www.youtube.com/edit?o=U&video_id=5Uix5eBLORU) 佐藤姉は、当教会で洗礼を受けるべくSKYPEを通じてマイヤー牧師から洗礼準備を受けてられました。ただ、洗礼のあと、婚約者の待つブラジルに移住される予定です。



**5、新案内パンフレット** 2015年9月の新会堂への移転にともない、懸案であったスイスJEG新案内パンフレットが、この度、完成いたしました。このパンフレットは、スイスにおいて20年近く発行され広範な読者をもつ情報誌”グリェツィの春号”に織り込まれ、在スイス邦人の手元に届けられる予定です。



**6、ウエルカム・キットが完成**

上記の新案内パンフレットに加え、ハーベスト・タイム・ミニストリーズの中川健一牧師著”福音の三要素”を加えて、初めて教会にお越しくださった方に贈る



”ウエルカム・キット”が出来ました。このキットが、一人でも多くの邦人に神様の愛と共に届きますようにとの祈りを込めて、お渡ししたいと願っています。



7、1年間のデピュテーションを終えて、クンツ・プリスキラ宣教師（リーベンツェラー宣教団）が、スイスJEG最後の礼拝となる3月12日の日曜礼拝に來られ、貴重な交わりの時を持ちました。クンツ師は、茨城県筑西市における新しい教会の創立という任務を、ショロツ宣教師ご夫妻とともに遂行のため、4月4日スイスを発られました。



8、オーニング宣教師、クンツ・プリスキラ宣教師、ラシェンコ・ペラ宣教師、ローゼンクランツNL、フーサー香織・シモン宣教師からのRundbrief、工藤篤子メルマガ、井野葉由美メルマガ号、バルセロナ日本語で聖書を読む会月報、デュッセルドルフ日本語キリスト教会月報、ケルン・ボン日本語キリスト教会月報、ルーマニア川井勝太郎宣教師の週報、ブリュッセル・ミサ便り、バリ・プロテスタント日本語キリスト教会バルタージュ、イザール通信、夜越山からの便り、ミッション”宣教の声”が届いています。お読みにになりたい方は、松林までご連絡ください。



## 日出づる国から

真理を神の愛で  
栃木県は宇都宮市の  
矢部晶宏補教師から



3月20日に無事、神学校を卒業することができました。皆さまのお祈りやサポートを心から感謝しています。JEGに関わる皆さまの上に主イエ

ス様の豊かな祝福がありますように。

多くの日本人は、「どの神を信じるかは重要ではなく、『信じる』という行為が重要だ」と言います。そういう人に、『結婚する』って行為が重要で、誰と結婚するかは重要ではない？」と聞き返したいです。最も重要なのは、信じる行為ではなく、信じる対象です。本当の神はだれか？真理に目が開かれてほしいと切に願います。

元英国軍人・首相ウィンストン・チャーチルは言いました。「戦時には、真実（真理）は非常に貴重であるので、いつも『嘘』というボディガードによって随行されなければならない」核開発に従事した「ソ連水爆の父」アンドレイ・サハロフも結論づけます。「世界で最も強力な武器は（原子）爆弾だといつも思っていた。しかし私は結論に至った。世界で最も強力な武器は爆弾ではない、真理（真実）だ（矢部訳）」このニュースレターで「戦時」や「武器」という表現は好ましくないかもしれませんが、チャーチルとサハロフの言葉は、真理の力を明示しています。

イエスは彼に言われた。  
「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。（ヨハネ14:6）」

日本でキリスト教は超マイノリティー。僕らの言動はすぐに実を結ばないかもしれませんが。しかし愛する人たち

が、唯一の神、主イエス様を知れますようにと祈らずにはいられません。

私たちキリスト者は、不変不動の真理を知っているという祝福に与っています。その最も強力な神の真理を神の愛でラッピングして、周りの人たちにプレゼントする2017年にしたいと思います。御心ならば、将来の宣教の準備として、今年も短期でヨーロッパに行けたらいいなと思っています。その時スイスJEGの皆さまにお会いできたら、とても嬉しいです。



## キリストの信仰によって立つ 信楽帰国者リトリート・レポート

滋賀県信楽で開催されたリトリートで、3月19日の午後4時から、「Think of the happy married life」結ばれた二人の結婚生活のセッションを持ちました。

講師も交えて質疑応答の時間をもち、多くの方々が参加されました。真剣に結婚を考えている人たちや結婚している人たちが祝福された結婚生活を望む人たちが集まりました。

又、夜には、英会話クラスの生徒さんや地域の人たちも合流し、会場一杯になりました。挫折、自分の実力に頼っていた演奏者、シンガーが神と出会い、変えられ、神の栄光の為に音楽を用いる者に変えられた証しがあり、まさに限界を超えた素晴らしい演奏と讃美がありました。

大いなる主のみ業をほめたたえ恵と祝福をいただいた集いとなりました。みことばによって信仰が新たにされ深められ、証しを聞いて涙を流した時間、分かち合いで参加者を知ることが出来、又、自由時間で笑いあり、楽しみ有りの時間でした。

これも多くの人たちの祈りとサポートがあったからと改めて感謝しています。

ウィリアムズ 富由姫

どの時間も主の臨在に満ち、また霊に燃えた兄弟姉妹との祝福された交わりの時となりました。ハレルヤ。内村先生のメッセージ、エゼキエル書から、すべてを生かすいのちの水について、田辺先生のメッセ



ージ、出エジプト記・ヨハネの福音書から、神様が一人一人に必要な訓練をし、任命し、そしてそれぞれの行くべき地へと派遣して下さるといこと、齋藤先生のメッセージ、1.ペテロの手紙から、いま置かれている地において、私たち一人一人が「牧師である！」との大胆な宣言、ユキ先生のメッセージ、ヘブル書から、「キリストの信仰によって立つ」といこと…。私たちに語られるべくして語られた生きた神の言葉を、ゆっくりと心に思い巡らしています。

運営側（主に私）の様々な不手際をみなさま笑顔で許してくださり、支え合い、助け合いながらの三日間だったなあ、いま改めて幸いを思い、

御国の前味を存分に味わえたことを感謝しています。

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう。」詩篇133:1

三日間にわたる全力での礼拝、神様が喜んでくださったこと確信します。それぞれ遣わされた地で祝福の基となり、また祭司として、牧師として、働きを全うしていくことができますように祈っています。

会場をご提供くださり、かげで熱心にご奉仕して下さった信楽キリスト教会の皆様、そしてお祈りいただいた皆様に、主が豊かに報いてくださいますように祈っています。

松永桃子